リーダーたちの本棚 VOL.55
Leader as Readers

企画・制作 朝日新聞社広告局 広告特集

L【率いる】Leading
多様なブランドの日本進出を加速

スターウッド ホテル&リゾート ワールドワイドは、「セントレジス」「ラグジュアリーコレクション」「W」「ウェスティン」「ル・メリディアン」「シェラトン」「アロフト」「エレメント」「フォーポイント・バイ・シェラトン」の9ブランドから成る。それぞれ個性が異なり、たとえば「セントレジス」は、優れたバトラーサービスを誇るラグジュアリーブランド。「シェラトン」は世界に400軒以上を構えるグループ最大のブランド。「W」は、特徴あるデザインと現代的な贅沢(ぜいたく)を満喫できるブランド。「アロフト」は、ビジネス利用に適した宿泊特化型ブランドだ。

日本では、「シェラトン」を8軒、「ウェスティン」を6軒、「セントレジス」を1軒展開。橋本さんは、「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」の取得などに貢献。同ホテルは今年、東京ディズニーリゾート30周年もあいまって大幅増収増益を記録中だ。業界を取り巻く環境も明るい。円安や東南アジア各国の観光ビザの発給要件の緩和などにより、震災後激減した外国人旅行者数は回復。日本政府観光局によれば、1〜8月の累計外国人旅行者数は前年同期比21.4%増の686万4,000人。2020年東京五輪も決まった。

「追い風の時こそ有頂天にならず、課題を見つけて改善に努めたい。前職では海外で従業員のリストラを担当するなど厳しい状況も味わった。成功体験が少ないので、夢を語る経営者になかなかなれない。時間・お金・リスクを頂点とするトライアングルを常にイメージし、その形が極端にゆがむような経営にならないように心がけています」

「SPG」のメリットを広めたい

いま最も力を入れているのが、9つのブランドを一つにつなぐ会員プログラム「スターウッド プリファード ゲスト®(以下SPG®)」の普及だ。宿泊やホテル内での飲食などで発生した料金に対してポイントがつき、1,100軒以上のホテルやリゾートの無料宿泊や、世界主要のエアライン航空券に交換できる。最大の特長は特典除外日がないこと。年末年始やゴールデンウイークなど、繁忙期でも適用される画期的なシステムだ。この9月には、より特典が充実した「スターウッド プリファード ゲスト® アメリカン・エキスプレス®・カード」の提供を開始した。

「SPG®の日本進出を強化し、ハイエンドなフリークエントトラベラーの支持を集めたいと思っています。今後は、『W』や『アロフト』の日本上陸も視野に入れ、軒数の拡大を目指していきます。きめ細やかなサービスを多くの方に堪能していただきたい。ワールドワイドに従業員指導を徹底する中で、日本のスタッフの接客態度への評価はとりわけ高い。そうした特色も大事に守っていきます」

学生時代はラグビー部に所属。「四の五の言わずに目の前の責務を果たす」と、ビジネス信条も体育会系だ。

web 広告日報
■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、橋本和宏さんが語るリーダー論を紹介しています。
http://adv.asahi.com
朝日新聞 広告 検索

日本スターウッド・ホテル代表取締役
橋本和宏(はしもと・かずひろ)さん

1961年福岡県生まれ。86年上智大卒。同年青木建設入社。海外でホテルのプロパティマネジメントなどに従事。2003年日本スターウッド・ホテル入社。04〜07年統括経理部長。08年日本・韓国・グアム地区統括開発部長。11年から現職。

R【読む】Reading
好きな作家を「追っかけ読み」

世界約100カ国で「シェラトン」「ウェスティン」などのホテルやリゾートを展開するスターウッド ホテル&リゾート ワールドワイド。日本法人を統べる橋本和宏さんの主な読書タイムは、片道1時間半の通勤電車内。「読書は最高の息抜き。娯楽の中に真実や歴史が織り交ぜられ、ささやかな発見が楽しめる作品が好みです」

リスクを恐れず前へ 求職中に自信が持てた

スターウッドに入社する以前は、ゼネコンに勤めていました。海外のホテルやリゾートコンプレックスの運営も手がける会社で、退職までの約10年間は海外勤務でした。この間にバブルがはじけ、本社は民事再生法を申請。当時私はアメリカにある開発事業社に出向していましたが、そこは身売りされることになりました。残務処理のため現地に留まり、本社に呼び戻されるのを待つべきか否か。悩んだ末、現地法人が別会社の傘下となるのを見届けて退社しました。41歳の時です。

長年日本を離れていたため再就職のつてはなく、不況下での求職活動。その頃に目に留まったのが、『チーズはどこへ消えた?』です。物語に登場するのは、迷路の中でチーズを求める2匹のネズミと2人の小人。運良く見つけたチーズの山に安住せず、チーズが消えることを予期して準備していた者は、その時が来てもうろたえず、迷路の先に歩を進め、新しいチーズを見つけることができる。最初に出合ったチーズにすがっている者は、みるみる怠惰になり、先に進む気力を失い、新しいチーズにありつけずに痩せていく。リスクを取ることを肯定したシンプルで象徴的なメッセージに力づけられました。本書の教訓は、今も肝に銘じています。

ふだん好んで読むのは、エンターテインメント色の強い小説です。特に浅田次郎さんの作品は、『週刊テーミス』という雑誌に連載していた20年以上前から追っかけています。当時はそれほど有名ではありませんでしたが、なんと斬新でユーモラスな視点の持ち主だろうと驚き、「この人はきっと売れる!」と思っていました。初期の傑作を二つ挙げるなら、『日輪の遺産』。終戦前後とバブル崩壊後の時代を行き来しながら、軍人や女学生たちの数奇な運命をつづります。マッカーサー一族の財宝を日本軍が隠していたという奇想天外なストーリーや、先の見えない展開にぐいぐい引き込まれました。

感銘を受けた作品はいつか我が子の手に

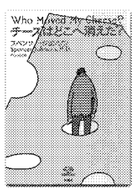
ここ数年は、梁石日(ヤンソギル)さんの小説をよく読んでいます。『タクシー狂躁曲』『血と骨』『睡魔』など数ある作品の中で心に残ったのは、『夜を賭けて』です。50年代の大阪陸軍造兵廠(しょう)跡地を舞台に、在日コリアンの鉄くず窃盗団、"通称アパッチ族"の生き様を描きます。差別や貧困など、登場人物たちが直面する現実は、暗く過酷です。しかし、彼らの姿から感じられたのは、悲観ではなく、沸き立つようなエネルギーでした。日本社会をマイノリティーの視点から生々しく捉えた本作は、若いうちに読むといろんなことを考えるきっかけになると思います。とはいえ、本は強制されて読むものではありません。私にも10代の子供がいますが、いつか自ら手に取ってくれることを期待して、本棚に並べてあります。

追っかけている作家をもう一人。村上龍さんです。『69 sixty nine』は、著者自身の高校生活をつづった小説です。好きな女の子にモテたい一心で演劇も映画も音楽も詰め込んだ「フェスティバル」を企画し、ノリで学校のバリケード封鎖を決行して自宅謹慎処分をくらう主人公ケン。それでも懲りずに仲間と学生生活を謳歌(おうか)する姿が痛快でした。私はノンポリ世代なので、学生運動や「バリ封」の経験はありませんが、長崎の佐世保で繰り広げられる村上さんの青春風景は、福岡生まれの自分の記憶と重なります。背伸びして小難しい文学や前衛芸術に傾倒するさまなど、懐かしくほほ笑ましく読みました。

最後は、字幕翻訳家の戸田奈津子さんの著書『スターと私の映会話!』です。田舎育ちのせいかもしれませんが、若い頃から外国へのあこがれが強かった私は、熱心に英語を勉強し、大学はポルトガル語学科に入りました。外国語を学ぶ上で最もためになったのは、映画鑑賞です。「as soon as possible」は「ASAP」で通じるのか……などと、学校教育では習わなかった言い回しを映画の字幕から学びました。本書にはそうした生きた英語がたくさん紹介されています。すべて覚えられたら相当英語力がつくのではないでしょうか。トム・クルーズ、ブラッド・ピット、レオナルド・ディカプリオなど、ハリウッドスターの来日エピソードも満載で、読み物として楽しめる一冊です。

(談)

橋本和宏さんのおすすめ本棚



『チーズはどこへ消えた?』
(扶桑社)
スペンサー・ジョンソン・著 門田美鈴・訳
IBM、米アップル社、メルセデス・ベンツなど、トップ企業が次々と社員教育に採用。単純なストーリーに託して状況の変化にいかに対応すべきかを説く。

『日輪の遺産』
(講談社文庫) 浅田次郎・著
帝国陸軍がマッカーサーから奪い、終戦直前に隠したという時価200兆円の財宝。老人が残した手帳に隠された驚くべき真実が、50年後に明かされる。

『夜を賭けて』
(幻冬舎文庫) 梁石日・著
鉄くず泥棒のアパッチ族と警官隊のし烈な攻防の末に金義夫は長崎の大村収容所に収監される。朝鮮と日本の現代史の闇を活写したピカレスク・ロマン。

『69 sixty nine』
(集英社文庫) 村上龍・著
1969年、東京大学は入試を中止し、街にはビートルズが流れ、ヒッピーは愛と平和を叫んでいた。佐世保に住む高校3年生ケンの青春物語が今始まる。

『スターと私の映会話!』
(集英社文庫) 戸田奈津子・著
字幕翻訳の第一人者が、ハリウッドスターのとっておきエピソードや、映画のセリフをもとにした英会話のヒントを紹介。話題の映画80本以上を収録。

おかげさまで創業80周年 三笠書房
千代田区飯田橋3-3-1
http://www.mikasashobo.co.jp
◎(株)ブックライナー〈フリーダイヤル〉0120-398899(9:30〜19:00)からもご購入いただけます。
◎書籍の詳しい内容は弊社HPをご覧ください。◎価格はすべて税込み。

80 三笠書房 創業80周年 珠玉の名著 新装版!!
本・ニュースの読み方から情報整理、発想の技術まで
鬱田隆史 Takafumi Kutsuwada
「考える力」をつける本
100万部突破のベスト&ロングセラー
推薦! 白取春彦氏(ベストセラー「超訳 ニーチェの言葉」編訳者)
ISBN978-4-8379-2513-2●1155円

最新刊 〝セカイ観〟がぐんと深まる50冊を厳選!
戸田智弘
「自分を変える」読書
〝もっと面白く生きる〟知恵を身につけよう
ISBN978-4-8379-2511-8●1200円

最新刊 リーダーは「語る」な、「実行」せよ
一流の上司 一流の上司
すべては「徹底力」の差で決まる!
吉越浩一郎
ISBN978-4-8379-2512-5●1300円

電子版は 三笠書房 BOOKSTORE www.mikasabooks.jp で購入できます。
くまざわ書店 文芸、エッセイ部門(10/7〜13調べ) 1位
三省堂書店 思想・哲学・宗教部門(10/7〜13調べ) 1位
有隣堂全店 哲学・歴史書部門(10/6〜12調べ) 1位
リブロ 人文部門(10/7〜13調べ) 1位
丸善・ジュンク堂書店 人文・教育部門(10/6〜12調べ) 2位
未来屋書店 文芸書・エッセイ部門(10/7〜13調べ) 2位
13万部突破!
心配事の9割は起こらない
余計な悩みを抱えないように、他人の価値観に振り回されないように、無駄なものをそぎ落として、限りなくシンプルに生きる。——著者
減らす、手放す、忘れる「禅の教え」
◎不安や悩みの9割は〝妄想〟から生まれる
◎情報の〝暴飲暴食〟があなたの心を不安定にする
◎誰かと「悪い縁」を結んでいないか点検すべし
◎前向きに生きている人は、例外なく「潔い人」
◎「朝」を大事にする人は、「自分」を大事にする人
◎「怒りの感情は頭にまで上げるな」という教え
◎世の中捨てたもんじゃない、とどれだけ思えるか
◎死ぬことは仏様にお任せしてしまえばいい
◎大地黄金——今いる場所で輝く人になる
◎大事なことは、夜に判断してはいけない
曹洞宗徳雄山建功寺住職 枡野俊明
ISBN978-4-8379-2508-8●1260円